

議 事 概 要 書

会議名称	第3回伊那市生涯学習基本構想審議会
日 時	令和3年1月27日（水）午前9時26分から午前10時35分まで
場 所	伊那市役所 501会議室
出席者	生涯学習基本構想審議会委員9名（欠席1名） 事務局：教育長、教育次長、生涯学習課長、生涯学習・文化財係長、担当
議 題	下記のとおり
議 事 内 容	
<p>1 開会（教育次長）</p> <p>2 あいさつ</p> <p>教育長：第2回の審議会から3か月半が経過したが、この間にパブリックコメント、関係団体からの意見聴取など、基本構想を検討するに当たり多くの方から気持ちを寄せていただいたことに感謝申し上げ、委員の皆様のかかわりにも感謝申し上げます。市が昨年度から取り組んでいる第2次伊那市総合計画では、脱CO₂社会、SDGsの取組、次の世代に受け継いでいく新しい価値、そうしたものが定着してきている。さらには市民や子どもたちに見られる学びのあり方や学びへの期待の変化などをふまえながら、将来にわたっての基本構想にしていく、そのように願ってきたところである。</p> <p>本日は、この答申案として御審議いただき案として固めていただき、あわせて重点項目について検討いただきたい。本日までの取組に感謝申し上げます、また本日の会議のお願いを申し上げ挨拶とさせていただきます。</p> <p>会長：年が明けてもコロナの勢いがすごく、上伊那でも最近まで感染拡大があったが、このところ静かになり、感染を防止できていることは非常にありがたい。公民館でも利用者が少し安どしている表情が見られ、非常にうれしい。利用する中で感染予防をしっかり守り、その中で生涯学習活動を楽しんでいる様子を見ることができ、ありがたい。この状況そのものが新しい第2次基本構想につながっていることだと思いつながりながら日々活動を見させていただいている。</p> <p>パブリックコメントや団体アンケートなどを受けながら事務局でまとめていただき感謝申し上げます。</p> <p>今日が最後となるので、まとめて市に提出できるようお力をいただきたい。</p> <p>3 会議事項（会長進行）</p> <p>（1）第2次伊那市生涯学習基本構想答申案について</p> <p>資料に基づき、事務局説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの経過報告 ○パブリックコメント等を受けて修正した内容（新旧対照表により説明） ○パブリックコメントや団体アンケート等による意見の主な内容 	

<意見>

会長：市民大学の社会貢献について意見があったが、社会貢献というのは何かの講師をするという捉え方だけで見てはいけないという感じがした。公民館には、市民大学を卒業された皆さんが自主的にクラブサークルを作って活動しているグループが2つある。そのことが、自分たちでいろいろなことを計画してやっているわけで、それが大きな社会貢献につながっているのではないかと見ている。市民大学大学院までやって、講師活動をすることももちろん社会貢献だと思うが、もっと広く考えてもらってもいいのではないかと感じている。

また、事務局の説明で「伊那市らしさ」をまとめていただいたが、これは今後、私たちも含めいろんな組織の方々が具体的に進めるときに、もっと伊那市らしさというところにつながっていくのではと思う。皆様方の御協力をお願いできればありがたいと思う。

委員：芸術文化の構成で非常によく書かれているが、一方でレベルアップを目指すという風潮が無くなっている。例えばいろんな事業を計画するとき、展示物で市民の皆さんが発表してどの作品を気に入ったかなどをやらうとすると反対される。比較されるのが嫌だという。それは考え方にもよるがどうなんだろう。コンクールなどに積極的に参加することによって芸術文化の質の向上につながるのではないか。そういうことをやってみたいが遠慮される。1度県の写真展でやったが、見る方たちの時間のかけ方が違う。普通では5分で見終わってしまうところが15分くらいメモを取りながらじっくり真剣に見る、それが審美眼の向上にもつながると思う。そういったことも是非やってもらえたらと思う。

委員：団体アンケートの中で、伊那市総合型地域スポーツ型クラブから「充実しています」とあるが、伊那市の総合型は公民館やスポーツ協会とのつながりがある。全国の研究大会等に出ると、他の都道府県などから、総合型でやっているものを公民館が取り組むのかとか、体育協会やスポーツ協会がどうかかわっているのかといった意見が出てくる。総合型は各市町村に作らなくてはいけないということで発進したわけだが、できていない市町村も多い。体育協会が、あるいは公民館でやっているなど、いろいろな意見が出てくる。そういったよその意見を聞くたびに、伊那市はそういう点では恵まれていると思う。公民館もスポーツ、文化、歴史、音楽などいろんな関係があって一生懸命やっており、大変いいまちじゃないかなと思う。いい体制で組織ができて進んでいるのではないかとつくづく感じている。

会長：その他、意見ありますか。

委員（全員）：なし

委員からの意見やその他修正点等、最終的には正副会長と事務局に一任いただいて、とりまとめることで確認される。

（2）第2次伊那市生涯学習基本構想重点項目について

資料に基づき、事務局説明

○団体アンケート・ヒアリングの結果から8項目選択

<質疑>

委員：集計を取った段階で、団体の内訳はどのような状況になっているか。

事務局： アンケート対象74団体のうち43団体から回答をいただいた。教育委員会で後援や共催を行った団体である。スポーツ、音楽、美術、落語、ビデオクラブ、テニス協会など各分野から回答いただいたと認識している。それぞれの回答率等は出していない。

委員： ある程度の偏りはやむを得ないと思うが、どうしようもないところか。

委員： 超高齢化の時代に、高齢者の生きがいつくりの「心身の健康づくりの推進」を選んだ団体が全くなかったことが意外であった。「仲間づくり生きがいつくり」に集中している。

会長： 見させていただいて、今回一番大事にしている「誰もが」という部分があるが、全てを網羅する「(4) 平等な社会の実現」の中から「①「人権同和教育の推進」」や「(5) 誰もが暮らしやすい社会の実現」の中から「①「環境保全への理解の促進」」、それから「(9) 子どもが健やかに育つ環境の整備」の中から「①「家庭の教育力向上」」といったところも重要であると思う。これらを加えて前回と同様11項目としたらよいのではと思うがいかがか。

委員： 私もいろいろ学ばせていただいている中で、「誰もがいつでもどこでもいつまでも」は頻繁に使っている言葉である。そういった中で、「(10) 高齢者の生きがいつくり」の中の「①心身の健康づくりの推進」も引っかけた。子どもの成長段階などいろいろな取組の中での体力増進と言われているので、ダブっているものもあると思うが入れた方がいいのではと思う。

会長： その他、意見ありますか。

委員（全員）： なし

11項目に増やし、項目については事務局と正副会長に一任いただくことで確認された。

(3) その他

○答申： 令和3年2月24日（水） 正副会長対応

○基本構想概要版について

会長： 基本構想はできたからおしまいではなく、具体的に実践していくのが我々である。お互いの組織のところで率先して取り組んでいく、そんな動きが出てくるといい。これから具体的な動きが出てくる、そこが大事だと思うので頑張ってやっていきたいと思う。

4 その他

5 閉会（副会長）